

法人企業景気予測調査

(令和6年1-3月期調査)

山形県分

令和6年3月12日

東北財務局 山形財務事務所

【調査要領】

1.調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施した。

2.調査対象の範囲

資本金1千万円以上の法人企業。
ただし、電気・ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上を対象。

3.調査時点 令和6年2月15日

4.調査対象期間

判断項目: 6年1~3月期又は3月末見込み、6年4~6月期又は6月末見通し、
6年7~9月期又は9月末見通し

計数項目: 4年度実績、5年度実績見込み、6年度見通し(計画)

5.調査対象企業数及び回収率

区分	製造業	非製造業	全産業
調査対象企業数	40	56	96
回答企業数	36	54	90
回収率%	90.0	96.4	93.8

本調査に関するお問い合わせ先
東北財務局 山形財務事務所 財務課
TEL 023-641-5179(内線30)

参 考

BSI (Business Survey Index) の計算法

$$\begin{aligned} * \text{ BSI} = & (\text{「上昇」等と回答した企業の構成比}) \\ & - (\text{「下降」等と回答した企業の構成比}) \end{aligned}$$

(例) 「企業の景況」の場合、前期と比べて、

「上昇」と回答した企業の構成比	40.0%
「不変」と回答した企業の構成比	25.0%
「下降」と回答した企業の構成比	30.0%
「不明」と回答した企業の構成比	5.0%

$$\text{BSI} = 40.0\% - 30.0\% = 10.0\% \text{ポイント}$$

..... 10.0%ポイントの「上昇」超

2. 国内の景況判断… 現状は「下降」超に転じている
先行きは6年4～6月期に「下降」超幅が縮小し、
6年7～9月期に「上昇」超に転じる見通し

(現状判断)

6年1～3月期の国内の景況判断BSIは、全産業では「下降」超に転じている。
業種別にみると、製造業、非製造業とも「下降」超に転じている。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では6年4～6月期に「下降」超幅が縮小し、6年7～9月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

国内の景況判断BSI 【原数値】

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区 分	5年10～12月	6年1～3月	6年4～6月	6年7～9月
	(5年10-12月期調査)	現 状 判 断	見 通 し	見 通 し
全 産 業	(9.6)	(1.4) ▲ 16.7	(2.7) ▲ 4.2	5.6
業 種 別				
製造業	(13.3)	(0.0) ▲ 25.0	(6.7) ▲ 7.1	7.1
非製造業	(7.0)	(2.3) ▲ 11.4	(0.0) ▲ 2.3	4.5

(注) ()書きは前回調査結果

3. 売上高… 5年度は増収見込み
6年度は増収見通し

5年度の売上高は、製造業で7.3%、非製造業で7.3%の増収見込みとなっており、全産業では7.3%の増収見込みとなっている。

6年度の売上高は、製造業で4.1%、非製造業で2.3%の増収見通しとなっており、全産業では3.4%の増収見通しとなっている。

売上高

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	()	()	()	()	()	()
5 年 度	(8.4)	7.3	(10.9)	7.3	(9.4)	7.3
6 年 度		4.1		2.3		3.4

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は5年度 65社 (うち製造業30社、非製造業35社)

6年度 48社 (うち製造業23社、非製造業25社)

4. 経常利益… 5年度は増益見込み 6年度は減益見通し

5年度の経常利益は、製造業で97.1%、非製造業で0.4%の増益見込みとなっていることから、全産業では67.5%の増益見込みとなっている。

6年度の経常利益は、製造業で1.9%、非製造業で24.6%の減益見通しとなっていることから、全産業では6.5%の減益見通しとなっている。

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	()	()	()	()	()	()
5 年 度	(88.1)	97.1	(4.7)	0.4	(63.3)	67.5
6 年 度		▲ 1.9		▲ 24.6		▲ 6.5

(注)1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は5年度 62社 (うち製造業29社、非製造業33社)

6年度 47社 (うち製造業23社、非製造業24社)

5. 設備投資… 5年度は減少見込み 6年度計画は減少見通し

5年度の設備投資は、製造業で36.8%、非製造業で12.9%の減少見込みとなっており、全産業では27.9%の減少見込みとなっている。

6年度の設備投資計画は、製造業で3.6%の増加見通しとなっているものの、非製造業で24.2%の減少見通しとなっていることから、全産業では11.1%の減少見通しとなっている。

設備投資

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業		非製造業		全 産 業	
	()	()	()	()	()	()
5 年 度	(▲ 50.9)	▲ 36.8	(▲ 16.0)	▲ 12.9	(▲ 37.9)	▲ 27.9
6 年 度		3.6		▲ 24.2		▲ 11.1

(注)1. ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く

2. ()書きは前回調査結果

3. 集計企業数は5年度 70社 (うち製造業30社、非製造業40社)

6年度 54社 (うち製造業22社、非製造業32社)

6. 従業員数判断…

現状は「不足気味」超幅が縮小

先行きは「不足気味」超で推移する見通し

(現状判断)

6年3月末時点の従業員数判断BSIは、全産業では「不足気味」超幅が縮小している。

業種別にみると、製造業は「不足気味」超幅が縮小しており、非製造業は「不足気味」超幅が拡大している。

(先行き見通し)

先行きは、全産業では「不足気味」超で推移する見通しとなっている。

従業員数判断BSI 【原数値】

(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比)

(単位:%ポイント)

区 分	5年12月末 (5年10-12月期調査)	6年3月末 現 状 判 断	6年6月末 見 通 し	6年9月末 見 通 し
全 産 業	(31.5)	(34.2) 29.2	(35.6) 26.4	27.8
業 種 別				
製 造 業	(20.7)	(34.5) 10.3	(37.9) 13.8	24.1
非製造業	(38.6)	(34.1) 41.9	(34.1) 34.9	30.2

(注) () 書きは前回調査結果

(参考資料1) 計数調査対象全業種集計結果

売上高

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業	非製造業	全 産 業
5 年 度	7.3	7.3	7.3
6 年 度	4.1	2.3	3.4

(注) 1. 電気・ガス・水道を含み、金融・保険は含まない(調査対象外)
2. 集計企業数は5年度 66社 (うち製造業30社、非製造業36社)
6年度 49社 (うち製造業23社、非製造業26社)

経常利益

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業	非製造業	全 産 業
5 年 度	97.1	45.8	69.9
6 年 度	▲ 1.9	8.7	3.1

(注) 1. 電気・ガス・水道を含み、金融・保険を含む
2. 集計企業数は5年度 70社 (うち製造業29社、非製造業41社)
6年度 54社 (うち製造業23社、非製造業31社)

(参考資料2) 設備投資(土地購入額を含み、ソフトウェア投資額を除く)

(前年度比増減率:%)

区 分	製 造 業	非製造業	全 産 業
5 年 度	▲ 37.1	15.3	▲ 23.4
6 年 度	2.6	▲ 19.6	▲ 7.6

(注) 1. 石油・石炭、電気・ガス・水道を除く
2. 集計企業数は5年度 68社 (うち製造業29社、非製造業39社)
6年度 52社 (うち製造業21社、非製造業31社)